

## ○人口高齢化の漸増趨勢を鈍化させている外来人口の急速な流入

上海市は活力のある大都市として、現在 900 万人近くが外来人口です。若年層の労働者を主とする外来人口の急速な流入は、若年層の労働者が常住人口に占める割合を増加させました。そして、それは、近未来に向けた上海の人口高齢化のスピードをある程度鈍化させています。

## ○生活実態と意識調査に見る上海の高齢化の課題

市民の養老保険制度等の整備、医療保険事業の発展、老人ホームの改善は、依然として上海市の最も重要な課題です。最近この方面の調査は少ないのですが、5 年前に「上海市高齢者の生活実態と意識調査」という調査が行われました。中国では年金制度が整備されていないのですが、会社の就労者や公務員には年金があります。農村や郊外ではまだありません。上海は生活が豊かになっていますから、企業や連帯組織でいろいろつくった制度がありますが、現在保険料を払っている市民は大体 8 割を占めています。

### 年金と生活保障状況: 2009~2010年

単位: 万人、%

享受养老保障待遇	2010年		2009年	
	人数	占60+老年人口比例	人数	占60+老年人口比例
城镇基本养老保险	226.99	68.6	217.09	68.8
小城镇社会保险	40.14	-	37.12	-
农村社会养老保险	32.16	-	31.22	-
征地养老	16.91	5.1	18.31	5.8
城镇高龄纳保	5.22	1.6	5.62	1.8
老年农民养老金补贴	7.06	2.1	9.10	2.9
城镇和农村最低生活保障	6.09	1.8	5.76	1.8
农村五保老人	0.19	0.1	0.18	0.1

日常生活の動作能力を見ますと、主観的には「自立できる」が95%と多いのですが、「自立が難しい」、「要ケア」、「部分的には自立できる」は5%ぐらいです。

### 日常生活動作能力

主観的評価では

- 「自立できる」と答えた高齢者は94.8%で、
- 「部分的自立」は3.8%で、
- 「自立不能」は1.4%である。



健康状況の主観的評価では、「健康的にいい」が2割、「普通」が5割、あと3割ぐらいが「よくない」、「あまりよくない」と答えています。

## 健康状況の主観的評価



- 「健康状況がいい」と答えたのは20.1%。
- 「普通」のは48.7%。
- 「あまりよくない」「よくない」のは31.1%。

「一人暮らし」の高齢者の比率は9%ぐらい、「老夫婦のみ」は36%、「子供あるいは孫と同居している」は53%です。

## 家族類型

- 「一人暮らし」の比率は8.9%、
- 「老夫婦のみ」は36.0%、
- 「子供あるいは孫と同居」は53.1%、
- 「その他の親族あるいはお手伝いさんと同居」は2.0%である。
- 「一人暮らし」高齢者のうち、男女の比率はそれぞれ27.0%と73.0%を占める。

「要介護老人と家族内での主な介護者の関係」と言いますと、配偶者は約35%で、日本と同じで1位ですけれど、2位は息子で25%ぐらいです。これは日本と多少違います。3位は娘で20%ぐらいです。そして、「日常生活が困難になった場合に、手伝ってくれる人がいない」高齢者は約4%です。

## 要介護老人と主介護者の続柄

- 1、「配偶者」は35.1%、
- 2、「息子」は24.8%、
- 3、「娘」は19.5%、
- 4、「お手伝いさん」は9.2%、
- 5、「嫁」は7.3%である。
- 「日常生活で困難に遭った場合、手伝ってくれる人がいない」高齢者は4.4%。

老後を過ごしたい場所（養老場所）は殆ど自宅です。都市部では9割、農村では85%です。この理由の1つは施設不足です。「施設で老後を過ごしたい」人は、都市部で2.5%、農村では4.1%です。ですから、意識的な問題が働いていると思います。

## 養老場所の意識

- 都市部90.9%と農村部85.1%の高齢者は「自宅で老後を過ごしたい」と答えた。
- 「施設で老後を過ごしたい」のは都市部と農村部でそれぞれ2.5%と4.1%しかない。
- 「答えられない」のは6.6%と10.9%である。



生活満足度で言えば、6割が「満足」と答えています。満足度の高い5つの面があります。それは「尊敬、尊重されている」、「子供との交流」、「配偶者との付き合い」、「子供から生活介護をもらう」、「子供から経済扶養を受ける」です。

### 生活満足度

- いまの生活に「満足」と答えたのは57.5%。
- 「普通」と答えるのは39.9%。
- 「不満足」と答えるのは3.0%。
- 「答えにくい」と答えたのは0.5%。



### 満足度の最も高い五つの面

- 「尊敬されている」(63.4%)
- 「子供との交流」(60.5%)
- 「配偶者との付き合い」(56.1%)
- 「子供から生活介護をもらう」(55.6%)
- 「子供から経済扶養をうける」(55.0%)



政府や社会にもっと希望し、解決して欲しいことは、1つは「敬老意識を高めるための広報教育」で、もう1つは老後の生活で満足できないことも多いのだと思いますけれど、なかでも「年金問題をよりよく解決すること」でして、また、「生活困難な高齢者に法律による援助を提供すること」、そして、「医療改革等をよりよく行うこと」です。

### 政府や社会に最も希望・解決したいこと

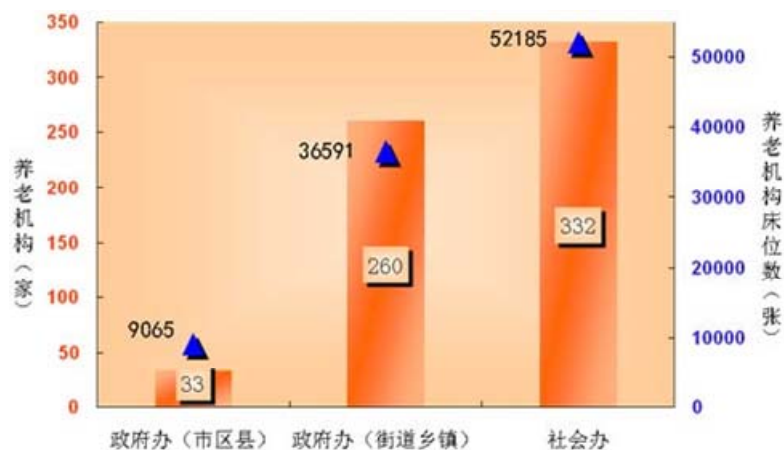
- 「敬老の宣伝教育を強化すること」(62.5%)
- 「年金問題をよりよく解決すること」(53.1%)
- 「困難老人に法律援助を提供すること」(39.5%)
- 「医療改革などをよりよく行うこと」(36.0%)
- 「老人サービス項目・施設を多く作ること」(31.5%)



## ○上海市の養老サービスの仕組みと現状

上海市の養老サービスの現状ですが、上海市政府は第11次5か年計画の期間中（2006～2010年）に展開する「9073」という運動プログラムを出しました。これは、日本ほど施設が整備されていないから9割は高齢者が自宅で家族による養老ケアを受ける、7%は「社区」（コミュニティ地域）で養老サービスを受ける、そして、3%は施設養老、即ち老人ホームで老後を過ごすようにするというものです。上海市はここ数年間で発展してきたため、現在老人ホームの施設とベッド数は、高齢者の3%しか対応できていません。コミュニティ地域（「社区」）での在宅の養老サービスでは、デイサービスセンターが現在普及しつつあります（現在330か所）。社区の助老サービスセンターが大分増えました（現在233か所、対象者25万2,000人）。いま一番に高齢者に喜ばれているのは、地域サービスで昼ご飯を自宅に届ける老人配食センターです（現在、404か所、サービス対象4万人）。健康な高齢者のためには、2～30年前からいろいろな老人活動室が社区には設けられています（6,062か所）。

## 2010年上海市の老人ホームとベット数： 625ヶ所、97841床（そのうち、2010年新增10843床）



### ○老々世帯とそれの面倒を見る活動

老々世帯は重視しなければなりません。現在上海では、94万5,600人が老々世帯です。そのうち、80歳以上の高齢者は27万4,600人で29%を占め、一人暮らしの高齢者は19万3,200人で20.4%を占めます。老々世帯の面倒を見る活動は以前は盛んでしたが、いま改めて提唱されています。

### ○上海市で組織された高齢者の手助けをする人的体制

1980年代後半～90年代に上海では、困っている高齢者を助けるいろいろないいモデルとなる方法がありました。1つは「包護組」です。つまり、2人以上の元気な高齢者がグループで要介護高齢者の日常生活の手助けをするという人的体制が約10,000組ありました。もう1つは、「老年互助組」で、高齢者同士で助け合いをする体制が約7,000組ありました。高齢者にサービスを提供するあのような制度をつくりましたが、現在中国は経済成長が速過ぎるものですから、このような敬老意識でつくった住民活動も弱体化しつつあります。

### ○最近さかんになっている見守り責任者のシステム

現在中国は、このように経済成長ばかりを望んでいては、昔からのいい伝統や文化を損なったり、失ったりして大変な問題になる、と反省しています。新聞の社説でも、「魂を間に合わせるように、経済成長のスピードを落として欲しい」という主張が載せられていました。

こういう見守り責任者のシステムは、子どもも親に対しても契約のようにやらなくてはなりません。1つの試みとして、上海市の普陀区で実施しています。老々世帯に対して、子どもは毎日1回電話で挨拶をしなければなりません。週に1回家庭訪問し、2週間に1回、親と同行して買い物をする。月に1回、親の入浴の手伝いをし、散髪に同行する、3か月に1回大掃除を手伝う、というテストを行っています。

浦東新区でもテストを行っています。内容は大体似ているのですが、1~2日ぐらいに1回は電話をし、1~2週間に1回家庭訪問をして、雑談するというものです。

それから、夏や冬には子どもが両親の慰労のために電気、ガス、水道の使い方のチェックをすることも試みています。

近所同士もボランティアも見守り責任者の契約のかたちで、電話、家庭訪問、精神的慰め、日常生活で異常が起こったときの社区の老人協会への報告等を行っています。

**「守望責任書」に  
子どもが実施すべきこと（普陀区）**

- 毎日一回電話で老親と挨拶をする
- 週に一回老親宅を訪問する
- 二週間に一回老親の買物を同行する
- 月に一回老親の入浴を手伝い、散髪を同行する
- 三ヶ月に一回老親宅の掃除を手伝う  
(②-⑤は兄弟姉妹順番でいい)

**「‘五星’老人サポート・ネットワーク」に  
子どもが実施すべきこと（浦東新区）**

- 1-2日に一回電話をして、老人の最新情報を把握する、必要とする老親にベッルを設置する
- 1-2週間に一回老親宅を訪問して、雑談をしたり、家事を手伝ったりすることによって、老人に肉親の情愛・親切さを感じさせる
- 冬・夏の両季節に老親のための保温防寒措施を実施し、ガス・水道・電気使用のチェックをするなど

**「守望(見守り)承諾書」(普陀区)に  
近所ボランティアの実施すべきこと**

- 毎日家庭訪問・電話で老人と挨拶を交わす
- 週に一回、話し合い・精神的な慰めをサポートする
- 老人に野菜、身の回り品をついでに買うなど、能力に相応する奉仕を提供
- 老人の体・生活になにか異常が起こった場合、社区の老人協会に報告

## ○中国における介護の社会化検討の動き

中国は、競争社会となったため、親の面倒をみなければならぬと思っながら、一人っ子であるため、できないという事情があります。そこで、社会で介護することが現在検討されています。中国は、国内の老人ホームや介護サービスを充実させる方針であり、2020年の介護・養老分野の市場規模は5,000億元、日本円で6.3兆円になると試算されています。

いま、その方面の施設は、たとえば老年医療関係では老年病院、老年護理院（高齢者介護病院）が増えています。また、現在施設不足で、「家庭ベッド」、つまり世帯内の病床については、定年退職した医師(60歳以上)や看護婦(55歳以上)がグループ組織で巡回診察を公的サービスとして行っています。

### ○その他、健康な高齢者に関わる動き

老年教育も、健康な高齢者向けは、数が大分増えました。

もう1つは老年法律相談で、いろいろな高齢者の相談に乗っています。定年後の生活という意味の「退休生活」を隔月で発行し、高齢者の日常生活の指導、医療相談等いろいろな内容が載っています。

学術・文芸、体育・スポーツ等健康な高齢者に対するさまざまな関係団体がつくられました。

### 老年医療

- 老年病院、老年護理院(タミナル・ケア)68ヶ所
- 家庭病床(ベット)6.66万床、そのうち、老人向け4.08万床
- 60歳以上高齢者健康記録管理数231.47万人分、老年人口の69.9%を占める



### 老年教育

- 市立老年大学: 5所ヶ所, 在学人数1.82万人
- 区県立、大学所属老年大学、市立老年大学分校など: 58ヶ所, 在学人数3.76万人
- 街道、郷鎮老年学校: 214ヶ所, 在学数15.07万人
- 居民、村民委老年教室: 4144ヶ所, 在学数18.37万人
- テレビ老年大学教室: 4268ヶ所, 在学数21.76万人

### 老年法律相談

- 法律相談援助: 929件/年
- 老人が手紙や直接訪問での苦情を処理すること: 4.90万人分/年、そのうち、もめごとを仲裁したのは4.82万人分



### 上海市老人活動の関係団体 2010

- 老年学術団体: 11ヶ所。
- 老年協会: 180ヶ所(街道、郷鎮以上)。
- 老年文芸団体: 1.19ヶ所、参加者28.24万人。
- 老年体育団体: 9400ヶ所、参加者33.15万人。
- 老年スポーツ協会: 100ヶ所(街道、郷鎮以上)、参加者33.15万人。